

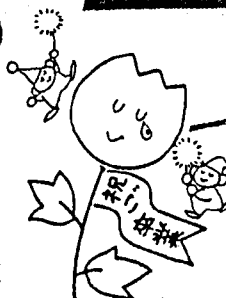
H4.2.23 (徹之 高4)

(1992)

定時制卒業式のご案内

(H4.2.23)

徹ちゃんだより



1. 日時 平成4年3月2日(月) 午後6時00分 受付

午後6時30分 開式

川崎市立川崎高等学校長

藤井康雄

是非来て、僕の晴れ姿を見て下さい、徹之

2. 場所 本校体育館

4年間の高校生活無事終えることか
で、皆様の協力に支度感謝いた
してあります。これから就労=自立を目指しがんばります。

※授業中のみでは
理解は無理
の株で家庭
学習で徹之
が理解できる
形に振り戻
すことにより
授業内容を理解し、学力を上げてきて
おります。徹之には返訳が必要でした。

1 学期 授業の中で内容を把握する
よう心がけて下さい。
私の件 取組全量が応援
にかかりました。是非頑張ってください。

2 学期 よく頑張っていました。
あと1ヶ月余の高校生活 志気
あるものにしてください。

学 4年間の高校生活を大変意欲
的に行いました。市公務員
として頑張ってください。
学年 学校にも是非頑張ってください。

山崎新や
絵画同好会
そしてスキー-教
室等々授業
以外でも
大変がんばっ
ております。

通知票より

普通科		第4学年	
ルーム 主任	佐藤嘉純	A	ルーム
番号	/	氏名	明石徹之

市内高校作の原
で、絵は91年銀座、92年金堂授賞(アセリアギャラリー)

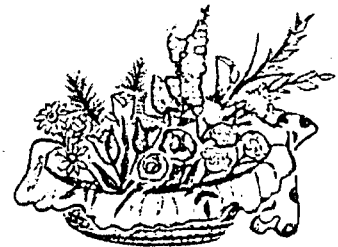


おめでとう!
徹ちゃん公務員試験に合格

いまわり会報より

92年2月11日発行
2月号
発行 川崎市の文化の会
会長 北林 輝夫
編集 044-222-7682
編集 044-222-7682
編集 044-222-7682

「あおぞらハウス」の所員であり、市立川崎高校の普通級。(定時制)に通いつつ、文具店にアルバイト実習で頑張っていた明石徹之君が公務員試験に挑戦、見事に合格しました。
心から徹之君の頑張り、「地域で共に生きる」ことに子供を値切ることなく運動し続けてきた、明石副会長(あおぞらハウス事務局長・共生会会長)に敬意とお祝いを申し上げます。
更に、ともすると周りから「無理だ」と言われる中、献身的な協力をして下さいました電機労連の加藤さん・飯塚議員・太陽堂の岩瀬さん・堤根清掃局の比気さん・「あおぞらハウス」の職員の皆さん・板垣さん・市立川崎高校の先生方本当に有り難うございました。



（そは徹えをすつと見守って来て下さった皆様方）

ひまわりの皆さん応援ありがとうございます。
「ひまわりっ子」の徹之はひまわりの方針通り「地域の中で共に生き、共に学び、共に遊び」そして今「共に働き」を本当に実現しようとしています。

先日(2/8,9)『第17回九州・山口地区自閉症研究協議会沖縄大会』にシンポジストとして呼ばれて参加してきました。(徹之の19年間の子育ての話をしてきました)
現在九州では(全国的にもそうですが)親の会の人達は立派な施設を作る事を最大の関心事としています。自閉症はまだ原因も本質も不明で、治療法も確立されておらず、又『自閉』という言葉からくる誤解(特に母親の冷たさから自閉症児を作るという誤解)も多いので「地域に生きる」ことは親にとって重たすぎるといふわけです。

私は、「現代医学では治療法がない以上、どこかに預けて治ると言うことはあり得ないから、一生生活する場で一つ一つ学習していくことが大切で、地域から切り離しては考えられない。家庭で日々の生活で個別に学習したものを地域で応用力を養うことによって自立できる。その方が子供も親も成長し地域も理解してくれます」とお話ししました。初めて

私の「地域に生きる」考え方と実践に会場の方々には驚かれたようで質疑応答が私に集中し、シンポジウム後の懇親会そして翌日の親の会との交流会そして現在も沖縄や九州から電話があり、考え方・生き方そして育て方を聞かれております。新聞記者の方も私の話を中心に記事にされ、それだけ「地域に生きる」は会場の人達にとって強烈だったようです。(資料添付しました)
ひまわりでは、「あたりまえ」ですのね。
(新聞記事等)

でも、ひまわりにとっても「共に働く」はやはり難しいようです。昨年夏、市職の二つの職場を実習した経験でも現場の方々の障害児・者に不慣れである事=拒否につながっていることを痛感しておりますので、今後とも理解を深め、協力を得る努力をしなければなりません。市職での、受入れ体制について県立及び市立養護学校の先生方も応援して下さいますので、第一号として、米ノースカロライナ州で公務員採用の際実施していますジョブコーチ(就労援助する現場での指導員)制度を川崎市で作って行けたらと考えています。

就労も本人の能力・適性以上にまわりの理解が大切でまわりが工夫すれば仕事も出来るようになるものです。可能性を信じてチャレンジします。今後とも応援して下さいね。

